

- 9月23日（火）（祝）桑名市民会館において、木曾川下流河川事務所主催の防災サミットを開催、市民を始め546名が参加。
- このサミットは、伊勢湾台風から55年が経過し、その教訓が忘れ去られようとしていることから「大規模水害時の広域避難を考える」と題して、群馬大学 片田教授による基調講演の他、木曾三川下流部沿川5市町の首長（桑名市長、木曾岬町長、海津市長、弥富市長、愛西市長）、中部地方整備局河川部長をパネリスト、片田教授をアドバイザーとしてパネルディスカッションが行われた。
- 片田教授による基調講演では、流域住民へのアンケート結果を踏まえたシミュレーション結果等を用いて、大規模水害による犠牲者ゼロを目指して、何をすべきかが話された。
- パネルディスカッションでは、大規模水害に対する各市町や国の取り組みや課題、今後取り組むべきこと等について、意見が交わされた。



会場の状況



開会挨拶
(澁谷事務所長)



基調講演
(群馬大学 片田教授)



パネルディスカッション
(全景)



展示コーナー（全景）



動く高潮・洪水ハザード
マップの体験状況



伊藤桑名市長



加藤木曾岬町長



松永海津市長



服部弥富市長



日永愛西市長